

学校番号	10	学校名	静岡北特別支援学校	校長名	原田 満紀
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「夢中」と「笑顔」で共生社会を生きるひと

(2) 目標具現化の柱

ア 主体的に学び、社会参加・自立に必要な力をつけることができる学校【専門性】

(ア) 知的障害教育校として、学校体制でのカリキュラム・マネジメントと、静北版OJTによる「技」の伝え合いを行い、児童生徒に確かな力を育成する。

(イ) 「効率よくかつ迅速な」業務と「なごやかにおだやかな」職場づくりに努める。

イ 安全・安心な生活ができる学校【安全・安心】

(ア) 教職員自らも人権感覚を高め、児童生徒の人権尊重の精神を涵養する。

(イ) 児童生徒の授業の充実と健康に配慮した居場所づくりのため、本校の状況を最大限に生かした学習環境の整備に努める。

ウ 家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】

(ア) 地域資源を活用する学習（麻活）を充実させ、地域に発信し、地域に根ざした学校になる。

(イ) 個別の教育支援計画を活用し保護者、学校、各種機関等が児童生徒を中心に連携する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）\*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
専門性	学校体制でのカリキュラム・マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>系統性と教科等横断的な視点を押さえた年間学習指導計画の実施・評価・改善</li> <li>授業づくりのPDCAサイクルにおける学習指導要領の活用方法の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の状況、学年の押さえ、学習指導要領の目標・内容、単元や題材の持ち味等から授業の根拠を語ることができる教員100%</li> <li>授業の根拠について説明を受けたと答える保護者80%以上</li> </ul>	教務 体育 文化芸術 研修 学部
	児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔輝く導入の工夫をする</li> <li>GIGAスクール構想による端末使用による授業の推進</li> <li>専門性向上に資する「技」の伝授、静北版OJT研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業が楽しい、できるようになったことが増えたと答える児童生徒や保護者80%以上</li> <li>タブレットを使用した授業1回</li> <li>静北版OJT研修で「技」の伝え合いを行った教員100%</li> </ul>	自立活動 総務課 情報教育 研修
	月45時間以内を目標とした時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>退勤時刻の申告と見える化による共有、言葉の掛け合い</li> <li>会議時間を守るために事前に資料を配り、話す時間を意識する。</li> <li>業務改善のワークショップを行い、業務の共有化を図る。（事務）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で決めた時刻に退勤できた職員100%</li> <li>会議終了時刻の遵守100%</li> <li>事務室から教員への確実な情報提供100%</li> </ul>	学年主任 教務 事務
安全・安心	自他を尊重しあう環境の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶と感謝の言葉を積極的に掛け合う。</li> <li>セクハラ、いじめに気付き身を守る指導、人間関係や学習上・生活上児童生徒が困っていることの把握と早期の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶と感謝の言葉がよく聞かれたという保護者・職員100%</li> <li>児童生徒の人間関係や学習上・生活上困っていることの把握に努め、早期に対応したと答える教員100%</li> </ul>	生徒指導
	未然防止への行動力と有事への対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各マニュアルの理解、日常的な事故原因の発見と情報共有</li> <li>健康及び安全等に配慮した学習環境を設定する。</li> <li>行事や予算等に係るやりとりを、事務室と各学部各分掌が密に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットの情報共有100%</li> <li>有事の際の自分の動きを具体的に想定できる職員100%</li> <li>学習中のけがや病気の発生ゼロ</li> <li>予算立案・執行に係る、事務室と各学部各分掌課との協働100%</li> </ul>	防災 保健給食 スクールバス 事務
連携	豊かな地域資源への深い理解と、それを活かした実践、発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻活の充実のための情報提供と職員研修の実施</li> <li>学校運営協議会との協働</li> <li>学校ホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12年間の麻活の指導内容を理解している教員100%</li> <li>本校の麻活の取組を知っていると答えた保護者80%以上</li> </ul>	学部 図書 地域連携
	1年後、3年後、卒業後の夢を描き、関係機関と連携して実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携機関や進路先との個別の教育支援計画の有効活用</li> <li>目標達成のための具体策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年後、3年後に向けての具体的な取組を示すことができた教員100%、了解したと答える保護者100%</li> </ul>	進路指導 地域連携 自立活動